

第7回

おごおり俳句&ウォーキングを行いました！

6月17日（日）俳人種田山頭火ゆかりの地・小郡をウォーキングしながら俳句を楽しむ「第7回おごおり俳句&ウォーキング」を開催しました。

今年は明治維新150周年にあたることにちなみ、テーマは「幕末史跡を巡る」です。梅雨晴れの中、幕末の史跡をめぐりながら、150年前の激動に思いを馳せました。



当館文化財専門員が随所で説明しながら、榎野川修工碑⇒藩米津出倉庫跡⇒道標⇒山陽道本町通り⇒三原屋本陣跡⇒信光寺を吟行しました。

11時30分ごろに資料館に到着し、休憩をとって、作句を始めました。今年も力作ぞろいで、句会は和やかに進みました。

当日は18名の参加があり、充実した一日を過ごすことができました。

第七回おごおり俳句&ウォーキング（山口市小郡文化資料館）

平成三〇年六月十七日（日）

25	三原屋の志と志包みて夏の風
24	陣屋跡のモダン信金夏つばめ
23	緑影に自転車と聞く幕末史
22	水の町水の光のさくらんぼ
21	小郡宰判で江戸ワールド
20	津出蔵果ては海なり梅雨の川
19	さらさらと作務衣に風や夏櫛
18	榎野川夏風運ぶ船頭の声
17	榎野川今は悠々揚げ花火
16	街道の六間間口夏つばめ
15	烏の子勘場跡にて親を待つ
14	津出倉跡老鶯の声やまず
13	梅雨晴や百五十年を旅したり
12	緑影や御茶屋の跡にカラス二羽
11	「右京江戸」若武者ノ夢蟻の道
10	十七の言の葉惑わす炎天下
9	川底の瀬戸の欠片やつばくらめ
8	水路ある路地の暮らしや濃紫陽花
7	歩を休めたる緑陰の御茶屋跡
6	風光る榎野の流れはとうとうと
5	改宗の過去ある古刹夏つばき
4	夏風や石州遙か道標
3	大南風あばれ川視る修工碑
2	蝶番朽つ藩米倉庫草茂る
1	大南風道標の差す江戸の道

50	將軍の書状にせもの蝸牛
49	父の日の金文字うする金物屋
48	時見つめ茶屋の大樹に夏来たる
47	碑の称ふ河川工事や青芒
46	梅雨晴間勘場跡割く大楠根
45	軒低し通りを低く日照草
44	炎天下志士の道標京を指す
43	御茶屋跡石垣残し朴の花
42	幕末の事件語りて玉の汗
41	太陽は一杯で女性群も一杯で心も一杯で
40	昼顔に隠れる江戸の道標
39	夏帽揺れ吟行の列長くなり
38	藩米や船出待ちたる夏の蔵
37	手つかずの枇杷や暗渠へ水めぐる
36	子燕も京へ上るや道標
35	道標や炎昼振るわす汽笛聞く
34	大楠に賜はる風や夏帽子
33	修工碑に公爵の文字蟻上る
32	激動を見守り幾年楠大樹
31	志仕走り抜けし街道夏燕
30	夏うぐいす藩米津出倉庫跡
29	先人の足跡たどる梅雨晴れ間
28	道標の灼けて牛馬を繋ぐなど
27	あぢさゐや弘中さんとあるく道
26	万緑の小郡吟行意気高し

第七回おこおり俳句&ウォーキング（山口市小郡文化資料館）

平成三〇年六月十七日（日）

75	篤姫の上洛拝む楠若葉
74	枕木はいつも平行梅雨晴間
73	まず遅刻ふれあいセンターさんすみません
72	水無月やロマンのありて勘場跡
71	紫陽花や金物店の手斧跡
70	ででむしの好みの木なり団地めく
69	五月晴歴史を語る街並みよ
68	本陣跡玻璃百枚の夏の雲
67	六月の樟の風格勘場跡
66	SLの汽笛ふくらす夏の空
65	小鴉を観る我等視る親鴉
64	いにしえの思い流るる夏のふしの
63	全力で毛虫が渡る熱き道
62	夏空や樟の葉擦れ音勘場跡
61	いにしへの街道巡る夏帽子
60	みどりの風によむ津出蔵標かな
59	長州の大楠を守る鴉の子
58	雲の峰本町通りの金物屋
57	雲に峰どの路地からも街道へ
56	年月をかさねて木陰に人休む
55	炎昼に巡りて語らう旧跡よ
54	梅雨晴れや古道の向こうはゆらゆらと
53	着信のごとき滴り駅通路
52	小郡は水運の町夏燕
51	古写真と比べて感嘆五月晴れ

100	正露丸抱え吟行夏帽子
99	一行のひとりママちやりさくらんぼ
98	ふしの川茅花流しの波立ちぬ
97	老鶯の声に押さるるごと歩む
96	母在りて姉ありし日よさくらんぼ
95	紫陽花や今もその陰道標
94	連衆の日傘連なり山陽道
93	木影揺れ耳をすまして夏を聴く
92	藻の花や嬉しきことは分け合ひて
91	草臥れて最後を歩く小判草
90	海鼠壁維新の青嵐駆け抜ける
89	青東風や史跡巡りて吟行す
88	廃屋の破れ障子に夏陽さす
87	仏めくものや櫂のうろの中
86	老鶯や大樹の洞に見る仏
85	維新百年を歩こうよ
84	大正期栄えた街に実る枇杷
83	樟青葉根坐りたる勘場跡
82	一休み梁に櫂の夏寺院
81	信光寺うちの寺だぞお父さんお母さん
80	吟行の終ひ褒美はさくらんぼ
79	小判草かつて櫂あり戦あり
78	螢飛ぶ川の傍建つ修工碑
77	思い出や花火見物榎野川
76	暗渠道の枇杷の実たわわ人の庭